

『身延論叢』 総目次 (自創刊号 至十九号)

創刊号 平成八年三月二十五日

創刊に際して

宮崎 英修

創刊の辞

仲澤 浩祐

法華經における法の語の使用例

望月 海淑

—— 譬喩品から授学無学人記品まで ——

樹神信仰の系譜

—— 积尊の風土・精神的基盤 ——

法華經にみる実践としての智慧

日蓮聖人最晩年の曼荼羅について

—— 弘安四・五年を中心として ——

—— 報恩と法華經行者の値難意識を通して ——

通師門人学禪院と身延衆徒

日蓮にみる女性の救済

—— 「一念三千の成仏」 ——

「雨二モマケズ手帳」における仏教思想

——

——

明治四年・伊賀農民騷擾裁判関係資料(一)

—— 明治法制史料断片(二) ——

編集後記

第二号 平成九年三月二十五日

【論文】『摩訶止観』第五上第七正修正観に

おける心意識(一念三千)説について

【論文】ジェンダー論からみた日蓮の性差観

【論文】身延山十二世円教院日意上人伝に關

する二、三の問題について

【資料紹介】明治初年の「自裁」規則補遺

—— 明治法制史料断片(三) ——

【シンポジウム】大学をとりまく社会環境と

仏教教育

提言・大学に求められているもの

大学の大衆化が進む中で、大学生をどの

ように育成するか

仏教教育の社会的役割(の根拠)をどの

ようなところに求めるのか

中山 光勝

岩田 諦靜

三輪 是法

桑名 貫正

中山 光勝

桑名 貫正

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

中山 光勝

『身延論叢』総目次

大きく変動する社会の中で、宗門子弟を

どのように育成するか

結び・仏教教育の現状と課題をめぐって

第二号 平成十年三月二十五日

【論文】カニシカ仏陀コイン「掌中の珠」の

意味するもの

【論文】身延期における日蓮聖人の如説修行

【史料紹介】日蓮『二代五時図』の身延山真

蹟曾存本

——京都本満寺所蔵の日乾筆真蹟臨写本

について——

【史料紹介】江戸の日蓮宗の年中行事（二）

——『武江年表』にみられる縁日・開帳・

祈願を中心に——

【翻訳】アティーシャの『菩提道灯論細疏』

和訳(1)

【英語論文】A Study of Difference of Gen-

der in Nichiren's Concept

第四号 平成十一年三月二十五日

宮崎英修先生略年譜・主要著述論文目録

【追悼文】得珠院日漸上人歎徳文

身延山学園理事長

【追悼文】弔辞

【追悼文】宮崎英修先生を偲ぶ

【追悼文】宮崎先生と私

【追悼文】宮崎先生が関心をもたれた最終講

義のメハサンダ遺跡

【追悼文】宮崎英修先生の想い出

【追悼文】宮崎先生との出会い

【論文】明治四年・松山県浮穴、久米二郡農

民騷擾裁判小考

【研究ノート】江戸の日蓮宗の年中行事（三）

第五号 四教授退職記念号

第五号 四教授退職記念号

望月 真澄 中山 光勝

望月 海慧 望月 真澄

三輪 是法 望月 海慧

卷頭言 望月 海慧

授・上田本昌教授 略歴・研究業績

高橋堯昭教授・望月海淑教授・町田是正教

授・上田本昌教授 略歴・研究業績

学長 浅井 圓道

【最終講義】塔とサンガ

——僧伽から仏塔重視・更に仏塔否定か

ら法の重視へ——

高橋 堯昭

巻頭言

【最終講義】法華経と私

望月 海淑

【深山正光教授 略歴・研究業績】

学長 浅井 圓道

【最終講義】歴史と文法

町田 是正

【最終講義】現代学校の役割を問う

深山 正光

【最終講義】『観心本尊抄』の【本尊段】について

上田 本昌

【論文】日本天台法華仏教の成立とその特質

浅井 圓道

【論文】真諦訳『撰大乘論世親釈』における増広部分の検討

岩田 諦静

【論文】江戸法養寺の事例を中心に——

望月 真澄

——釈依止勝相品（所知依章）——

望月 真澄

【論文】ハンセン病救済事業・身延深敬病院における十萬一厘講勸募活動について

桑名 貫正

【論文】江戸城大奥女性の代参について

【研究ノート】原始仏教の福祉行動に関する原典研究ノート

——増一阿含第四十について——

池上 要靖

【研究ノート】生涯学習と福祉教育

志田 利

【資料紹介】魔魅人条例の制定に関する一資料

料

中山 光勝

【資料紹介】明治六年の火葬禁止に関する公文書

中山 光勝

【翻訳】ディーパンカラシユリージュニヤー

望月 海慧

【資料紹介】遺言と血脈

本間 裕史

ナノ『菩提道灯論細疏』和訳(3)

望月 海慧

【翻訳】ディーパンカラシユリージュニヤー

望月 海慧

ナノ『菩提道灯論細疏』和訳(4)

第六号 深山正光教授退職記念号

平成十三年三月二十五日

第七号 浅井圓道先生退職記念号

平成十四年三月二十五日

【浅井圓道先生 略歴・研究業績】

【最終講義】我が教学研究五十年

浅井 円道

【論文】真諦訳『撰大乘論世親釈』における

増広部分の検討(二)

—— 釈依止勝相品(所知依章) ——

岩田 諦静

【研究ノート】在家信者の福祉実践

—— 山城多三郎の金谷民生寮 ——

志田 利

【資料紹介】明治四年・伊賀農民騷擾裁判関

係資料(二)

中山 光勝

【資料紹介】(翻刻)京都市善正寺所蔵「檀

林録」

望月 真澄

【翻訳】ディーパンカラシユリージュニヤ

ナの『菩提道灯論細疏』和訳(5)

望月 海慧

第八号 立教開宗七百五十年記念号

平成十五年三月二十五日

【論文】日蓮聖人の立教開宗をめぐる

上田 本昌

【論文】社会福祉における宗教の復権への一

考察 —— 小池政恩の実践に学ぶ ——

志田 利

【論文】真諦訳『撰大乘論世親釈』における

増広部分の検討(四)

—— 釈依止勝相品(所知依章) ——

岩田 諦静

【論文】身延山大学における学生の意識(Ⅰ)

高橋 一公

【論文】如来滅後後五百歳始考

望月 海淑

【翻訳】ディーパンカラシユリージュニヤ

ナの『菩提道灯論細疏』和訳(6)

望月 海慧

第九号 岩田諦静先生退職記念号

平成十六年三月二十五日

【岩田諦静先生 略歴・研究業績】

【最終講義】九識説と日蓮宗

岩田 諦静

【論文】福祉から仏教に期待するもの

志田 利

【資料紹介】乃木希典日記

—— 明治八年 —— (一)

中山 光勝

【論文】法華経「方便品」における仏像造像

の材料について

野際 清美

【翻訳】ディーパンカラシユリージュニヤ

ナの『菩提道灯論細疏』和訳(7)

望月 海慧

第十号 志田 利先生退職記念号

平成十七年三月二十五日

【志田 利先生 略歴・研究業績】

【最終講義】私の仏教福祉論

志田 利

【論文】兜跋毘沙門天像成立に見られる西方

高橋 堯昭

【追悼文】

文化の包容と大乘思想の具像化

【史料紹介】勝浦市妙覚寺所蔵「上総国興津

寺尾 英智

【論文】上総七里法華における元文法難と伊

村広栄山妙覚寺継図写」

【史料紹介】京都市善正寺所蔵「六山会合要

望月 真澄

藤玄基隆敬の生涯

【論文】建学の精神の具体化

——『福祉』教育への導入に関する事

例——

高橋 智恂

【新刊紹介】望月真澄著『法華信仰のかたち

【論文】羅睺羅をめぐる

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解

望月 海淑

その祈りの文化史』(大法輪閣)

説・宝明莊嚴論』和訳(1)

望月 海慧

【報告】深山正光先生の遺稿「国際教育の研

究」出版の経緯と意義

田沼 朗

第十一号 平成十八年三月二十五日

【論文】宗教者の福祉実践

——富士育見院創設者渡辺代吉——

志田 利

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解

【論文】仏教福祉学科への願望

志田 洋子

説・宝明莊嚴論』和訳(3)

望月 海慧

【資料翻刻】明治十一年・神奈川県下真土村

農民騷擾事件関係裁判資料(一)

中山 光勝

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解

説・宝明莊嚴論』和訳(2)

望月 海慧

第十二号 平成十九年三月二十五日

【追悼文】

中山 光勝

【論文】上総七里法華における元文法難と伊

藤玄基隆敬の生涯

岩田 諦靜

【史料紹介】山梨県南都町 正行寺蔵「朝師

記念録 全」

望月 真澄

【新刊紹介】望月真澄著『法華信仰のかたち

その祈りの文化史』(大法輪閣)

三輪 是法

【報告】深山正光先生の遺稿「国際教育の研

究」出版の経緯と意義

田沼 朗

【論文】十世紀初までの日本各宗に於ける新

羅仏教の影響について

福士 慈稔

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解

説・宝明莊嚴論』和訳(3)

望月 海慧

【翻訳】陳景富 編著『草堂寺』(修訂本)

の私訳

望月 海淑

第十三号 平成二十年三月二十五日

【論文】真諦訳『撰大乘論世親釈』における増広部分の検討(五)

—— 釈止勝相品(所知依章) —— 岩田 諦静

【史料紹介】車返霊場関係資料 望月 真澄

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解 説・宝明莊嚴論』和訳(4) 望月 海慧

【論文】終末期医療におけるいのちのさとり 吉田 永正

【論文】生まれる子ども、親、ドナーの福祉を配慮した家族支援

—— オーストラリアの提供型生殖補助医療の調査をもとに ——

【論文】塔に関しての疑義 森 和子

望月 海淑

第十四号 志田洋子先生退職記念号

平成二十一年三月二十五日

【志田洋子先生 略歴・研究業績】

【最終講義】私の社会福祉実践をふりかえつて

志田 洋子

長又 高夫

【論文】鎌倉幕府成立論

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解 説・宝明莊嚴論』和訳(5)

【論文】羅什訳妙法華経の二三の問題 望月 海淑

第十五号 平成二十二年三月二十五日

【講演】『信貴山縁起絵巻』にみる病と信仰 小山 聡子

【研究ノート】幕末期日蓮伝記本に関する一考察

—— 中村経年著『日蓮上人一代図会』における弟子・信徒・寺院に関わる記載事項を中心に ——

【論文】紀国寺慧浄の『法華経續述』考(1) 望月 真澄

—— 新発見の史料をもとに —— 金 炳坤(慧鏡)

【論文】六朝訳経の文体に見られる双賓構造の特徵 椿 正美

【翻訳】ラトナーカラシャーンティ『経集解 説・宝明莊嚴論』和訳(6) 望月 海慧

第十六号 宮川了篤先生退職記念号

平成二十三年三月二十五日

【宮川了篤先生 略歴・研究業績】

【最終講義】日蓮宗修法史概説

宮川 了篤

【論文】怨霊への対処

——早良親王の場合を中心として——

山田 雄司

【論文】本妙日臨律師の研究

桑名 法晃

【研究ノート】日蓮遺文の文献学的研究とその成果

間宮 啓壬

【論文】Taranatha の *dbu ma thug mchog*

第5章「五法と三性と縁起の決択」について

望月 海慧

第十七号 長澤市郎先生退職記念号

平成二十四年三月二十五日

【長澤市郎先生 略歴・研究業績】

【最終講義】仏像修復の理論と実践

長澤 市郎

【論文】紀国寺慧浄の『法華経續述』考(2)

——韓国の現存本をもとに—— 金 炳坤(慧鏡)

【論文】相談援助専門職の行う相談と身近な相談の違い

——相談援助の価値と原則—— 榎木 博之

【論文】レッジョ・アプローチによるドキュ

メンテーションの実例検討 伊東 久実

『身延論叢』総目次

第十八号 平成二十五年三月二十五日

【講演】身延山大学公開講演会講演録 日蓮

聖人と大震災

中尾 堯

【論文】新羅義寂撰『無量寿経述記』の撰述年代考

南 宏信

【論文】六朝古逸『法華経疏』の同本離片に

関する一考察

金 炳坤(慧鏡)

【論文】常不軽菩薩品を巡って

望月 海淑

第十九号 平成二十六年三月二十五日

【報告】高齢者の誤嚥予防対策

北村 愛子・佐々木さち子

【翻訳】コータン語『法華経綱要』の試訳 片山 由美

【翻訳】チベット語訳『妙法蓮華註』「五百弟子受記品」和訳

望月 海慧

【論文】学生による身延町子育て支援とその教育的効果

伊東 久実
望月 海淑

【論文】久遠ということ

執筆 者 紹 介 (目次順)

山田 英美 (身延山大学仏教学部名誉教授)

中山 光勝 (身延山大学仏教学部教授)

浜島 典彦 (身延山大学長)

椿 正美 (身延山大学仏教学部非常勤講師)

金 炳坤 (身延山大学仏教学部特任講師)

桑名 法晃 (立正大学院博士後期課程)

望月 海慧 (身延山大学仏教学部教授)

編 集 委 員

長 又 高 夫 柳 本 伊左雄

【編 集 後 記】

*『身延論叢』第二十号をお届けいたします。身延山大学が四年制大学に改組した翌年の平成八年三月に創刊号を発行して以来、ついに二十号を刊行することが出来ました。これもひとへに会員諸氏に御助力頂いたお陰であり深謝いたします。

*本号は、仏教学部福祉学科主任であった山田英美先生の退職記念号であります。先生の略歴、研究業績、ならびに御専門である幼児心理学の立場から「あそび」の意味やその大切さを論じられた最終講義を活字化いたしました。

*平成二十六年七月二十一日に本学名誉教授である志田洋子先生が、平成二十七年一月二十日には前学長である中山光勝先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。学長の浜島典彦先生が志田洋子先生への追悼文をお寄せくださいました。本来であれば、中山先生への追悼文も併せて掲載致すべきですが、本号の原稿入稿後、中山先生が帰寂されましたので、真に失礼ながら追悼文は次号に掲載させて頂きます。

*本号には、山田英美先生の略歴、研究業績、最終講義をはじめ、追悼文一遍、論文二篇、翻訳一篇、資料翻刻一篇、総目次を掲載いたします。なお中山光勝先生の「明治二年・伊那県筑摩郡農民騒擾関係裁判資料(一)」につきましては、入稿された後、先生が急逝されましたので、編集の方で校正をさせて頂きました。

*本号には、『身延論叢』の一号から十九号までの総目次を掲載します。作成にあたり、本学仏教学部特任講師金炳坤会員に御協力頂きましたこと御報告いたします。

(T・N記)